

<販売名> **ミルクポン** **第2類医薬品** ※未開栓キャップ使用





- 本品は飲まないでください。●小児の手のとどかない所に保管してください。
- 本品を取扱う時は、ゴム手袋などをご使用ください。

使用上の注意 (必ず使用前にお読みください。)

相談すること 1. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師、又は登録販売者に相談する。

関係部位:皮膚 症状:手の荒れ、発疹、発赤、かゆみ

2. 本品は内服しない。また、あやまって飲み込んだ時は、すぐに水、生卵、ミルク等を飲み、医師に相談する。
3. 目に入らないよう注意する。目に入った場合には、こすらずにすぐに水又はぬるま湯で十分に洗い流す。
なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受ける。

1 洗浄  哺乳びん・乳首は授乳後すぐにブラシと「哺乳びん専用洗剤」で洗ってから、よくすすぎます。	2 溶液をつくる  哺乳びんが完全に浸る大きさの容器に、ミルクポンを水道水で約80倍に薄めて消毒溶液を作ります。キャップ内側の線(15mL)で1.2Lの溶液ができます。※簡単で便利な別売の「ピジョンミルクポン消毒ケース」のご使用をおすすめします。
3 つける  消毒溶液に、よく洗浄した哺乳びん・乳首を中に気泡が残らないように完全に入れ、次の授乳まで1時間以上浸しておくだけで、消毒できます。※消毒溶液は24時間ごとに新しく作り直してください。	4 調乳  調乳の直前に哺乳びん・乳首を清潔な手で取り出し、消毒溶液をよく振り切ってから調乳します。すすぐ必要はありません。すすぐ場合は必ず水道水を使用してください。

ガラス製・プラスチック製の哺乳びん、シリコンゴム・イソプレンゴム製の乳首にお使いいただけます。乳首を消毒した場合、乳首のゴムが白くなる場合がありますが、ご使用には差し支えございません。

効能・効果 **用法・用量**

効能・効果	用法・用量	濃度
哺乳びん・乳首の殺菌消毒	哺乳びん・乳首を洗った後、本品の80倍液に1時間以上浸す。	0.0125%
医療器具の消毒、器具・物品などの消毒	本品の20～50倍液に数分間浸すか、清拭する。	0.02～0.05%
室内・便所・浴室の消毒	本品の20～50倍液で清拭する。	0.02～0.05%
排泄物の消毒	本品の1～10倍液を用いる。	0.1～1%

用法及び用量に関連する注意 ●定められた用法・用量を厳守する。(排泄物の消毒時以外は、原液での使用をさける。また、熱湯での希釈はさける。) ●換気の良い場所で使用する。●哺乳びん等に付着したミルクなどの有機物は、消毒前に十分に洗い落としてからミルクポン溶液につける。●哺乳びん等は、浮かないようにミルクポン溶液に沈める。●酸性の洗浄・漂白剤、シアン系酸系の製品と混合すると塩素ガスが発生して危険なので混合しない。●金属製・木製の容器または器具・物品(スプーン等)は、変質することがあるので、使用しない。●調製後、ミルクポン溶液が変色した場合、その水での調製をさける。

成分及び分量 次亜塩素酸ナトリウム1w/v% 及び添加物としてpH調整剤を含有。

保管及び取り扱い上の注意 ●直射日光をさけるべく湿気の少ない涼しい所に密栓して保管する。●誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえない。●衣類、金属製の指輪等につくと脱色、変色することがあるので、注意する。●本品は殺菌消毒する対象物によっては印刷面、材質などを変色(変質)させる場合があるので注意する。

製造販売元 ⑩丸石製薬株式会社 大阪市鶴見区今津中2-4-2
発売元 ピジョン株式会社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4 (お客様相談室) TEL 03(5645)1188
●「ミルクポン」はピジョン(株)の登録商標(日本国内)です。

ピジョンホームページは <http://pigeon.info/>

MADE IN JAPAN 商品コード 12095

pigeon

ピジョン

ミルクポン

哺乳びん・乳首・器具等の 消毒液

ひたして簡単
すすぎ不要

1日1回の調製で
殺菌効果24時間

1050
mL

第2類医薬品



まぜるな危険

●酸性の洗浄・漂白剤、シアン系酸系の製品と混合すると塩素ガスが発生して危険です。おやめください。